

日本画で流形展都知事賞

辰野の若尾さん

流形美術会（東京都）主催の第66回流形展で最高賞の一つ、都知事賞を受賞した若尾桂治さん（73）＝辰野町＝の日本画「宵桜」が、諏訪市末広の岩谷画廊で12



受賞した日本画「宵桜」を説明する若尾さん

「受賞に達成感」諏訪の画廊で展示

月末まで展示されている。絵画部門での応募93点から選ばれた。5回目の出展で初受賞だ。

阿智村の田に立つ大きな桜の木が題材。岩や土などの粗い顔料を塗った上に細かい顔料を何度も重ねた。下地の凹凸で立体感が出るという。

2015年に辰野美術会主催の「辰野美術展」で最高賞になった絵に加筆修正。「もっと夜空の奥行きと明るいイメージを出そうと思った」と若尾さん。現地に何度も行って素描し、参考にする写真も撮り直し、1年かけて完成させた。

諏訪市清水で開かれる絵画教室「洲羽（すわ）の会」に通い、同画廊もよく訪れる縁で展示が実現。作品制作に当たって、会の仲間から助言をもらったという。「定年退職してから本格的に描き始めて13年。全国公募の美術展で最高賞をもらえて達成感がある」と話している。

岩谷画廊は午前10時から午後7時まで。水曜休み。